

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象地域の住民の健康行動が推進される。
(2) 事業内容	<p>本事業はバングラデシュで疾病負荷が深刻化する非感染性疾患のリスクを低減させるため、3つの活動（活動1：健康教育実施、活動2：保健サービスの質とアクセスの改善、活動3：分野間連携による非感染性疾患対策の整備）を通じ、対象地域の非感染性疾患の予防と管理に関する能力の向上を目指す。第1年次は活動1を中心に進めている。以下に中間報告を行う。</p> <p>活動1：対象地域において健康教育が実施されるに関連した活動</p> <p>活動1-1 プロジェクトが地域のソーシャルサポートグループ(SSG)とプロジェクトのフィールドファシリテーター(FF)に健康教育に関する研修を行う。</p> <p>プロジェクトスタッフの雇用・研修実施後、各ユニオンに3つのソーシャルサポートグループ（以下：SSGとする）を結成し、全SSGに対して研修を修了した。結成までの経過として、ユニオン評議会との協議を重ねて参加型手法を用いた地域住民との会合を企画した。人選はプロジェクトの提示した条件を考慮しユニオン評議会メンバーによる地域内の正式な会議によって実施された。またPRA（Participatory Rural Appraisal:参加型農村調査手法）マップを作成し地域内の村集落や社会組織・学校等の今後活動に必要なかつ有用な情報をSSGと確認した。SSGのための研修講師には、パ国保健サービス局の“非感染性疾患（以下：NCDとする）に関するTOT研修”を受講した郡保健局医務官、県保健局医務官や県病院医務官らに依頼した。プロジェクトは、NCD管理方法や兆候・症状など写真や図を挿入し理解しやすい視覚教材を準備した。またSSGが地域内における非感染性疾患に関する問題を認識し、NCD予防の生活指導を住民に対して実施する能力を獲得することを目的に、研修モジュールおよび発表用の研修教材（ベンガル語・パワーポイント資料）を作成し研修に用いた。</p> <p>活動1-2 非感染性疾患予防のためのコミュニティワークショップ開催</p> <p>SSGと保健ワーカーの協力の下、NCD患者情報を収集しつつ、コミュニティグループ（以下：CGとする）を結成する対象地域の選定をほぼ終了した。CG名簿作成は、一部地域で終了し、他の地域では作成中である。名簿を作成した地域では、現在CG結成のための第一回会議を準備中である。</p> <p>活動1-3 啓発・指導ツールの開発</p> <p>啓発・指導ツールの開発をCGの活動を通して進める事は、SSGと共有されている。研修用に作成されたモジュールの内容とフィールドからのフィードバックされた内容を、今後の啓発・指導教材の核とし、対象者およびその目的に合わせて活用する計画である。</p> <p>活動1-4 プロジェクトとSSGとCGが村レベルの啓発活動を実施する</p> <p>大衆を対象とした啓発活動はまだ実施されていないが、活動開始準備として、プロジェクトに対する社会的な支援・理解を促進するために、プロジェクト情報の共有とNCDリスク要因に関する説明をICC（Information and Communication Campaign）</p>

	<p>を通して実施している。</p> <p>活動 2：保健サービスの質とアクセス改善に関連した活動</p> <p>郡保健局事務所とは頻りに連絡を取り合いながら連携し活動を開始している。SSG 研修実施時には、郡保健局事務所から全面的な協力を得ることができた。SSG はメディカルキャンプの目的と必要性を理解し、次年度のキャンプ実施の下準備として、地域健康課題や NCD に関連する情報を地域住民に積極的に発信している。地域社会の協力体制は整えられつつある。</p> <p>活動 3：分野間連携による非感染性疾患対策の整備に関連した活動</p> <p>対象ユニオンと会議を実施し、プロジェクト目標、目的および活動計画について説明した。全ユニオン議長がプロジェクトとの連携を支持しており、またユニオン評議会議員は、SSG メンバーとして活動に参加している。</p> <p>本事業は、NCD 対策の受け皿としてのユニオン開発調整委員会（以下：UDCC とする）の活性化も目指しているため、ユニオン側の主体的参加を重視し活動を進めている。</p>
<p>(3) 達成された効果</p>	<p>指標 1-1 健康課題が各地域で設定される</p> <p>12 地域の全 SSG が結成され、地域毎の健康課題も設定された。</p> <p>SSG メンバー選出は、当初よりユニオン評議会を通じて準備され、参加型手法を活用した会議を通じて行われた。SSG メンバーは、政府医療機関医師による非感染性疾患研修を通じて、活動への動機づけや活動の重要性をよく理解することができており、当プロジェクト実施に非常に高い関心を持っている。</p> <p>SSG 研修で使用した研修モジュールは、研修参加者が容易に NCD を理解できることを目指して絵なども用いて作成された。参加者からは理解が深められたと好評を得た。健康課題（目標）は、研修の最終段階で協議によって決定された。具体的には、「喫煙習慣（禁煙地域の設定・禁煙の推進）」「室内空気汚染（改良かまどの普及推進）」「かけ塩習慣（減塩キャンペーン）」などである。</p> <p>指標 1-2 50%の CG メンバーが非感染性疾患予防の行動を取り入れる</p> <p>現在 CG メンバーを選出し結成に向けて活動を進めている段階である。CG の活動を支援する SSG メンバーに対する研修も終了し、CG および一般の人々への NCD 管理に関する支援の基盤はできていることから、CG 結成後速やかに CG メンバーへの啓発等を開始できると期待している。多くの SSG メンバーは、すでに個人の生活の中で NCD リスク要因を排除する努力を開始し、家族・友人同僚に対しても研修で学んだことを共有させている。</p> <p>指標 1-3 啓発教材が完成する</p> <p>各地域健康課題が決められたことから、今後それらの活動を推し進めるために、どのような啓発教材が必要であるかについて SSG と議論を開始している。</p> <p>また、バングラデシュはイスラム教国であり、年に約一ヶ月の断食を実施しなければならない。糖尿病を持つ患者はその一ヶ月の生活パターンの変化に合わせて、薬の服用・使用方法を変えなければならないが、それらの情報がほとんど伝えられ</p>

	<p>ていない。健康的な日常生活と宗教行事を両立させるための情報も収集している。</p> <p>指標 1-4 地域の健康課題を理解する住民の数(フォローアップ調査対象者の60%)</p> <p>SSGと共に地域の健康課題のための活動計画を立てているところである。大衆啓発活動は、実施準備中であるが、ICCが多くの地域社会組織、学校関係者および地域有力者に対して開始され、実施団体であるアジア砒素ネットワークおよび本事業の理解が浸透しつつある。興味を示し親密な態度で対応してくれるようになっている。SSGメンバーの結成にも積極的に貢献してくれており、非常に良い理解を示してくれている。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>1) CG 活動の開始</p> <p>間もなくCGメンバーは結成される予定である。SSGメンバーと人選を開始し結成会議の準備を進めている。結成後CGに対して研修を予定している。</p> <p>2) 啓発劇の準備および実施と、啓発教材開発のための継続的な検討と協議</p> <p>啓発ドラマの台本を、地域内の小劇団の協力の下作成する予定で、NCDのリスクを低減させる生活をしている家族とそれをしなかった家族に関する内容を検討している。また、特に小規模啓発活動を進めるための教材として、フリップチャートやフラッシュカードの製作の検討を関係者と共に考案する。</p> <p>3) メディカルキャンプの実施準備</p> <p>メディカルキャンプ実施に関する情報は、関係者間で共有はすでにされており、今後詳細な計画および場所の選定を行う。一部有料サービスの計画もあり、関係者と協議する。</p> <p>4) ユニオン評議会の活動として、砒素検査プログラムの開始支援</p> <p>砒素検査のための研修をユニオン評議会メンバーや村警察を対象として実施する。その後、ユニオン評議会、SSGおよびCG等を通じて、住民に対して情報を提供し、有料で砒素検査を実施する。</p> <p>5) 住民意識のモニタリング</p> <p>指標 1-4「地域健康課題を理解する住民の数」の変化を把握するため、また、本事業の個々の活動の成果を図るため、住民に対して小規模なモニタリングを実施していく予定である。</p>